

IV 平成26年度の実績

1 平成26年度事業の実績一覧

重 点	事業番号	平成26年度事業一覧	所管	掲載ページ
(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成	1	あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育実践事業	《企画》	P. 52
	2	子どもの読書活動推進事業	《企画》	P. 54
	3	いじめ根絶キャンペーン推進事業	《企画》	P. 57
ア 青少年の体験活動の充実	4	子ども健康促進事業（地域で進めるすくすく青森っ子の育成）	《地域》	P. 58
イ 地域が支えるキャリア教育の充実	5	障害者青年学級開設	《地域》	P. 59
	6	地域の教育力によるたくましい高校生育成事業【廃止】	《地域》	P. 61
ウ 子どもの読書活動の充実	7	地域の教育力による学校支援活動推進事業【廃止】	《地域》	P. 62
	8	放課後子ども教室推進事業	《地域》	
エ 地域全体で子どもを育む活動の充実	9	家庭教育支援推進事業	《地域》	P. 64
	10	障害者家庭教育学級開設	《地域》	P. 65
オ 家庭教育支援の充実	11	高大連携キャリアサポート推進事業	《社セ》	P. 66
	12	高校生スキルアッププログラム推進事業	《社セ》	P. 67
	13	未来の青森県を担う若人育成講座	《社セ》	P. 68
	14	学校と地域の協働実践セミナー	《社セ》	P. 70
	15	絆でつながる家庭教育支援セミナー	《社セ》	P. 71
	16	家庭教育支援コンテンツ制作事業	《社セ》	P. 73
	17	家庭教育相談事業	《社セ》	P. 74
	18	子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業	《図書》	
	19	梵珠少年自然の家主催事業（親子のつどい、子どものつどい）	《梵珠》	P. 75
	20	自然体験活動支援事業	《梵珠》	
	21	在学少年宿泊指導者研修	《梵珠》	P. 76
	22	ファミリー防災キャンプ事業	《梵珠》	P. 77
	23	種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぼう、こどもの祭典）	《種差》	
	24	自然体験活動支援事業	《種差》	P. 78
	25	在学少年宿泊指導者研修	《種差》	P. 79
	26	親子で学ぶ防災キャンプ事業	《種差》	

(2) 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成	27	学びと活動による地域コミュニティ活性化事業 (地域で考え行動する公民館機能活性化事業) 【廃止】	《地域》	P. 80	
	28	学びと活動による地域コミュニティ活性化事業 (学校発、地域とのつながり形成事業) 【廃止】	《地域》	P. 81	
	ア 地域活動の実践者の育成	29	社会教育主事等一般研修	《企画》	P. 82
	イ 地域活動の指導者、コーディネーターの養成	30	パワフルAOMORI!創造塾	《社セ》	P. 83
	ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援	31	生涯学習・社会教育関係職員研修講座	《社セ》	P. 84
(3) 一人一人の主體的な学習と社会参加の推進	32	県立学校開放事業	《企画》	P. 86	
	33	あおもり県民カレッジ運営業務	《指定管理》		
	ア 関係機関との連携による多様な学習活動の支援	34	元気青森人を創造するeラーニング推進事業	《社セ》	P. 88
		35	学習情報の収集・提供事業	《社セ》	
		36	青森県視聴覚ライブラリー運営事業	《社セ》	P. 89
	イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援	37	ボランティア関係機関職員養成講座	《社セ》	
	38	近代文学館特別展開催	《図書》	P. 90	
	39	近代文学館企画展開催	《図書》	P. 91	
	40	アウトリーチサービス推進事業	《図書》	P. 92	
	(4) 社会教育推進のための基盤整備	41	生涯学習推進基盤整備事業 (生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会)	《企画》	P. 93
42		生涯学習・社会教育総合調査研究事業	《企画》		
ア 社会教育推進体制の充実		43	青森県社会教育委員の運営	《企画》	P. 94
		44	市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成	《企画》	
イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進		45	社会教育主事派遣事業	《企画》	P. 95
		46	社会教育主事等一般研修(再掲)	《企画》	
ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上		47	生涯学習専門講座派遣事業	《企画》	
		48	社会教育主事有資格者育成派遣事業	《企画》	
エ 社会教育関係団体等の活動の支援		49	在学青少年育成費補助事業	《地域》	P. 96
		50	青森県連合青年団活動費補助事業	《地域》	
		51	青森県地域婦人団体連合会補助事業	《地域》	P. 97
		52	生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲)	《社セ》	
		53	県立図書館資料整備	《図書》	
		54	市町村立図書館等職員研修事業	《図書》	

【所管凡例】

《企画》生涯学習課企画振興グループ
《図書》県立図書館
《事務》各教育事務所

《地域》生涯学習課地域連携推進グループ
《梵珠》県立梵珠少年自然の家
《指定管理》指定管理者事業

《社セ》県総合社会教育センター
《種差》県立種差少年自然の家

2 平成 26 年度事業の実績

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 青少年の体験活動の充実
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 地域全体で子どもを育む活動の充実
- オ 家庭教育支援の充実

生涯学習課

あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育実践事業

【事業目的及び概要】

子どもたちの自己肯定感を高め、将来の夢や希望に向け積極的に行動するよう促すため、地域産業による教育支援活動の促進、校種間の連携及び地域との連携を融合した実践研究等に取り組み、学校・地域・家庭におけるキャリア教育の一層の充実をめざす事業である。

【事業内容及び結果】

(1) 地域からの教育活動支援体制の充実

ア 青森県キャリア教育推進協議会の設置

(ア) 第 1 回協議会 【開催日：7/1(火)、会場：教育委員会室】

○内 容 平成 26 年度の事業内容及び各地区実行委員会の取組について

(イ) 第 2 回協議会 【開催日：11/5(水)、会場：教育委員会室】

○内 容 あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育推進大会及びあおもりキャリア教育応援企業表彰について

(ウ) 第 3 回協議会 【開催日：2/16(月)、会場：県総合社会教育センター】

○内 容 平成 26 年度の事業実施状況について

イ 地域産業による教育活動支援体制を充実させるための取組の実施

(ア) 教育 CSR セミナーの開催

○開催日 9/18(木)

○会 場 県総合社会教育センター

○参加者 94 名

○内 容

・青森県教育支援プラットフォームの紹介と登録について

・基調講演

演題：「企業にとっての“キャリア教育”～教育 CSR による企業メリット～」

講師：清川メッキ工業株式会社 専務取締役 清川 卓二

・県内企業等のキャリア教育取組事例紹介及び教育支援活動推進員の活動紹介

「KBS キャリア形成と出前授業事例のご紹介」

株式会社ビジネスサービス ソリューション営業推進部 佐藤 真奈美

「子どもたちとのふれあいと教育支援活動推進員の活動」

エステサロンほほえみ(教育支援活動推進員)代表 山内 美恵子

(イ) 教育 CSR 表彰の実施

○名称：「あおもりキャリア教育応援企業表彰」

○募集期間 9/30(火)～10/24(金)

○受賞企業・事業所等数：14 社・団体

有限会社石持ランドファーム(東通村) ねぶたの家ワ・ラッセ(青森市)

障害者支援施設津麦園(青森市) あおもり中小企業人材支援センター(青森市)

有限会社つたや会館(三沢市) 社会医療法人博進会 南部病院(南部町)

ローソン弘前茂森町店(弘前市) イマジン株式会社 弘前パークホテル(弘前市)

株式会社ビジネスサービス(青森市) 株式会社竜飛精工(五所川原市)

青森水族館管理株式会社(青森市) 特定非営利活動法人つがる夢庭志仙会(つがる市)

八戸工業大学(八戸市) 青い森鉄道株式会社(青森市)

- 表彰式：あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育推進大会(11/19(水))にて実施
- ウ キャリア教育実践を展開する各地区実行委員会への支援
- 教育支援活動が可能な企業・NPO等の登録の実施
- 「我が社は学校教育サポーター」登録数 ※H27/3/31 現在

地区	東青	西北	中南	上北	下北	三八	県域	合計
登録数	220	116	129	123	109	123	23	843

(2) 家庭における意識啓発

ア 企業等における「働く背中を見せるキャンペーン」の実施

(ア) あおもり子ども職場参観日

- 実施期間 7/1(火)～2/28(土)
- 実施数 12事業所
- 参加者数 144人

(イ) あおもり子ども職場参観日 in 県庁

- 実施日 7/31(木)
- 参加者数 82名(うち子ども45名)

イ 「家庭で進めるキャリア教育フォーラム」の開催

家庭におけるキャリア教育に対する理解を深め、家庭におけるキャリア教育実践を促進するためのフォーラムを開催した。

- 対象 小・中・高・特別支援学校生を持つ親、一般県民
- 委託団体 青森県PTA連合会、青森県高等学校PTA連合会、青森県特別支援学校PTA連合会

○実施概要

- ・青森県PTA連合会 11/1(土)三沢市連合PTA研究大会で実施
- ・青森県高等学校PTA連合会 11/5(水)青森市でフォーラムを開催
- ・青森県特別支援学校PTA連合会 9/5(金)東青地区、9/19(金)津軽地区、11/11(火)南部地区でそれぞれ開催。

(3) あおもりで「生きる・働く」を学ぶ実践活動の展開

地域の特色を生かしたキャリア教育実践の充実のために県内6地区に実行委員会を設置し、地域産業による出前授業等のコーディネートによる教育支援活動、社会教育施設等によるモデル事業、企業等による教育支援プログラムの開発の支援等を行った。

ア 6地区実行委員会の設置

- ・東青、西北、中南、上北、下北、三八地区にそれぞれ実行委員会を設置

イ 出前授業、職場体験活動など地域産業による学校への教育支援活動の仲介の成果

○平成26年度実績 延べ88校

地区	地区別のべ数	校種別				内容別		
		小学校	中学校	高等学校	特支他	出前授業	職場見学	職業体験
東青	25	2	19	3	1	10	1	14
西北	11	5	3	3	0	10	0	1
中南	8	0	5	1	2	4	3	1
上北	29	20	7	2	0	26	2	1
下北	10	9	0	1	0	9	1	0
三八	5	1	3	1	0	5	0	0
総計	88	37	37	11	3	64	7	17
		88				88		

ウ 教育支援活動推進員の発掘及び研修の実施

○平成 27 年度教育支援活動推進員数 33 名
地区別の教育支援活動推進員一覧

地 区	東青	西北	中南	上北	下北	三八	合計
人 数	13 名	4 名	3 名	1 名	9 名	3 名	33 名

(4) 啓発と成果の普及

ア 「あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育推進大会」の開催

学校・地域・家庭の連携によるこれからのキャリア教育の在り方について考え、新たな実践への第一歩となることをめざして実施。

○開催日 11/19(水)

○会 場 県総合学校教育センター

○対 象 学校教職員、PTA関係者、企業・事業所・NPO等の職員、県及び市町村職員、及びキャリア教育や教育支援活動に関心がある一般県民

○参加者 214 名

○内 容

・「あおもりキャリア教育応援企業表彰」表彰式

・基調講演

演題 「子どもも大人も楽しんで関わる地域でつくるキャリア教育」

講師 一般社団法人まなびの応援団 代表理事 平田 節子

・提案！我が社の教育支援

内容 企業の出前授業、職場体験についてポスターセッションを実施

出展企業・事業所等数 25 社・団体

・パネルディスカッション

テーマ 「これからのキャリア教育について考える～つながる未来への第一歩～」

コーディネーター 一般社団法人まなびの応援団代表理事 平田 節子

パネリスト 特定非営利活動法人未来図書館主任コーディネーター 恒川 かおり

前板柳町立板柳中学校長 永澤 正己

あおもりで「生きる・働く」を学ぶ下北地区実行委員会委員長 竹園 正敏

青森県高等学校PTA連合会会長 住吉 治彦

田重菓子舗店主 田中 歌織

イ ポータルサイトの開設・運営

○ページ名：「生きる」「働く」「学ぶ」をつなぐ 青森県のキャリア教育 総合ポータルサイト

○URL：<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/career-edu.html>

[成果と課題]

教育CSRセミナー及びあおもりキャリア教育応援企業表彰を通して、CSR（企業の社会的責任）に対する企業の理解は深まってきているが、更なる啓発を図っていく必要がある。

家庭におけるキャリア教育フォーラムでは、子どもの自立に向けての親の役割を再確認できたとの声が聞かれた。

各地区実行委員会では、地域の特色を生かしたキャリア教育の実践に努めており、その結果青森県教育支援プラットフォームを活用しての教育実践を行っている学校は年々増えてきている。

あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育推進大会では、参加者からこれからキャリア教育をどのように行っていくべきか、その進むべき方向性が見えてきたという声が多く寄せられた。

今後の課題は、教育支援プラットフォームの活用促進とともに、各地区実行委員会と学校及び企業・NPO等との連携を促進していくことである。また、各地区実行委員会が持つノウハウが共有され、より効果的なキャリア教育実践が行われるよう、実行委員会同士のネットワークを強化していく必要がある。

子どもの読書活動推進事業

[事業目的及び概要]

子どもの読書活動の大切さと、子どもの読書活動推進のための環境整備に家庭や地域で取り組むことの必要性を伝えるため、啓発活動、研修会、イベント等を実施する事業である。

[事業内容及び結果]

(1) 子どもの読書活動啓発小冊子の活用

乳幼児の保護者等に向けた子どもの読書活動啓発のための小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」を市町村が行うブックスタート事業等での活用のために提供したほか、幼稚園・保育所等で開催される保護者研修会や読み聞かせ研修会等に、テキストとして提供した。また、研修会等の主催者が希望した場合、「親子ふれあい読書アドバイザー」を講師として紹介した。

○ブックスタート事業等への提供：9市町村 延べ4,060冊

○保護者研修会等への提供：12市町村 17か所 延べ800冊 研修会参加人数 621名

親子ふれあい読書アドバイザー 延べ10名

(2) 地区別読書活動推進研修（新規養成、登録者スキルアップ）・交流会の開催

青森県読書団体連絡協議会の各地区組織と連携した研修会を開催し、親子ふれあい読書アドバイザーを新たに8名養成、登録した。（累計382名）

	地区	開催日	会場	内 容		受講者数	実参加者数
基礎編	三八	10/9 (木)	八戸ポータルミュージアムはっち	午前	実演 「親子ふれあい読書アドバイザーの実際」 ・保護者会でのお話&読み聞かせ 講師：アイウエオの木絵本の会 代表 大友 栄子	27名	47名
				午後	講義・演習・交流 「楽しい読み聞かせ会にするために！」 ・年齢・場所等に合わせた絵本の選び方 ・読み聞かせのコツ ・講師による絵本の紹介と実演 ・地区読み聞かせグループの紹介・交流 講師：アイウエオの木絵本の会 代表 大友 栄子	41名	
	上北	10/10 (金)	三沢市立図書館	午前	実演「親子ふれあい読書アドバイザーの実際」 ・保護者会でのお話&読み聞かせ 講師：おはなしこっとな 代表 今井 千都子	10名	37名
				午後	講義・実演 「はじめてでも大丈夫！初心者のための読み聞かせ講座」 ・選書・読み聞かせのコツ・プログラムの作り方 講師：おはなしこっとな 代表 今井 千都子	35名	
	中南	10/16 (木)	平川市文化センター	午前	実演「親子ふれあい読書アドバイザーの実際」 ・保護者会でのお話&読み聞かせ 講師：車力村読書サークル 代表 北澤 由美子	36名	44名
				午後	講義「レトロ？今でしょ紙芝居！」 ・誰でもできる紙芝居の演じ方 講師：紙しばい倶楽部とわだ 橋場 タエ子 小笠原 良子 小原 章彦	36名	
スキルアップ編	下北	9/23 (火)	むつ市立図書館	午前	実演・演習 「親子ふれあい読書アドバイザーの実際」 ・アドバイザーとしての心構え ・模擬保護者会1（講義・グループ演習） ・模擬保護者会2（グループ演習） 講師：車力村読書サークル 代表 北澤 由美子	7名	12名
				午後	「ストーリーテリング（素話）で物語の世界へ」 ・素話とは？ ・おはなしの選び方 ・おはなしの覚え方 ・素話の実演 講師：おいしいおかゆの会 代表 西村 恵美子	9名	

東青	10/8 (水)	蓬田村ふるさと総合センター	午前	実演・演習 「親子ふれあい読書アドバイザーの実際」 ・アドバイザーとしての心構え ・模擬保護者会1（実演） ・模擬保護者会2（グループ演習） 講師：おはなしこっとな 代表 今井 千都子	18名	23名
			午後	実演・交流 「見て！聞いて！ゲットしよう！」 ・グループの活動内容発表 ・パネルシアターの実演・交流 講師：パネル劇場「ばねるっば」主宰 関 稚子	23名	
西北	10/26 (日)	つがる市生涯学習交流センター	午前	実演・演習 「親子ふれあい読書アドバイザーの実際」 ・アドバイザーとしての心構え ・模擬保護者会1（講義・実演） ・模擬保護者会2（グループ演習） 講師：おはなしちゃんこなべ 秋田 敏博	18名	27名
			午後	講義・演習 「現場で役立つ絵本の読み聞かせ術」 ・選書の仕方 ・効果的な読み方 講師：おはなしちゃんこなべ 秋田 敏博	27名	
計						190名

(3) 子どもの読書活動推進県民大会の開催

地域ぐるみで子どもの読書環境を整え、子どもの読書習慣の形成と豊かな心の育成を図る機運を高めるための県民大会を開催した。

○開催日：10/4（土）

○場所：県総合社会教育センター

○参加人数：シンポジウム78名、講演会・体験コーナー等累計126名

○内容等：シンポジウム

講演会 講師 絵本作家 川端 誠

「読む」「聞く」「見る」「作る」「学ぶ」といった本にかかわる様々な体験コーナーの実施

	コーナー名	内容	講師
聞く	川端誠さんの絵本ライブ	自作絵本の開き読み、制作の裏話	絵本作家 川端 誠
	読み聞かせリレー	紙芝居	紙しばい倶楽部とわだ 千葉 有子 三戸 笑美子
		絵本の読み聞かせ	青森県立青森中央高等学校 「読み聞かせ隊」
	パネルシアター	おはなしるんるん（弘前市） 斎藤 真琴 野呂 美穂子	
見る	科学の実験	不思議な液体	県立青森南高等学校 教諭 神 孝幸 教諭 八木橋 奈央
	図書館探検	ふだんは入ることができない県立図書館のいろいろな部屋の見学	県立図書館職員
作る	工作	絵本のキャラクターの折り紙作り	青森市生涯学習推進員 出崎 真里
		スチレンペーパーグライダー作り	三沢航空科学館 名久井 正廣
	親子料理教室	「ぐりとぐらのかすてら」作り	アイウエオ絵本の会 大友 栄子 他

読む	読む	子どもの読書活動啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」に掲載している絵本の展示	
学ぶ	読書のアニメーション	アニメーション（ゲームや遊びを通して読書に親しみ、楽しみながら読解力を伸ばす読書指導）の実際に関する学び	青森アニメーションクラブ 金子 徳子 藤田 香織
	学校図書館相談コーナー	学校図書館に関するお悩み相談コーナー	県立図書館職員

(4) 青森県子ども読書活動推進計画の策定

青森県子ども読書活動推進協議会の意見を踏まえ、青森県子ども読書活動推進計画（第三次）を策定した。

ア 青森県子ども読書活動推進協議会の開催

- ・協議会 3回 7/15(火)、8/27(水)、12/16(火)
- ・専門委員会 3回 8/1(金)、10/22(水)、12/8(月)

イ あおもり県民政策提案（パブリックコメント）の実施

ウ 平成 27 年 3 月制定、450 部作成し、関係機関や図書館等に配付

エ 生涯学習課ホームページに掲載

URL: <http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/suishin-keikaku.html>

【成果と課題】

各市町村における研修会やブックスタート事業において、子どもの読書活動啓発小冊子をテキストとして活用することが定着しつつあり、小冊子の提供冊数は増えている。小冊子未活用の 25 市町村については冊子を提供し、活用促進を図った。

また、地区別読書活動推進研修・交流会は、地域の活動者が求める学びや様々な立場の参加者の意見交流をすることができた。県民大会においても多数の参加者があったことから、子どもの読書活動の大切さと、子どもの読書活動推進のための環境整備に家庭や地域で取り組むことの必要性を伝える目的は概ね達成できた。

今後は「青森県子ども読書活動推進計画（第三次）」に掲げた課題（不読率の改善など）に対応した取組を進める必要がある。

いじめ根絶キャンペーン推進事業

【事業目的及び概要】

学校・家庭・地域のすべてにおいて、子どもの人権に関わる理解と認識を深めるため、いじめ根絶等に向けた県民レベルの具体的な取組を一層強化するとともに、県民に対するキャンペーン等を幅広く展開する事業である。

【事業内容及び結果】

(1) いじめ根絶キャンペーンCM原作コンクール

中学生、高校生、一般県民からいじめ根絶テレビCMの原作を募集し、優秀作品を選定、表彰する。

○募集期間：5/7（水）～7/18（金）

○応募数：489点（中学校464点、高等学校23点、一般2点）

※参考 平成22年からの応募数（※平成25年度より一般県民からも作品を募集）

年 度	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	学校数	作品数								
中学校	15	230	22	517	24	533	19	270	23	464
高 校	5	22	5	22	13	46	4	19	5	23
一 般								3		2
合 計	20	252	27	539	37	579	23	292	28	489

(2) いじめ根絶キャンペーンCM原作コンクール審査会

応募作品の中から優秀作品9本を選定し、表彰した。

○開催日：7/31(木)

○受賞作品一覧

	学 校 名	団体、 個人の別	学年・氏名・団体名	作 品 名
中 学 校	青森市立沖館中学校	個人	2年 早川 和輝	あなたは、まだ気付いてないだけ
	青森市立北中学校	個人	1年 土岐 楓香	君の一言で
	青森市立北中学校	個人	2年 大澤 綾乃	STOP・いじめ
	青森市立北中学校	個人	2年 溝江 菜畝	～「私」という存在～
	むつ市立大平中学校	個人	3年 西沢 綾香	いじめの鎖を断ちきるのは
高 等 学 校	青森県立青森工業高等学校	個人	2年 最上 響夏	紙飛行機
	青森県立弘前工業高等学校	個人	3年 村上 玲奈	いじめZERO
	青森県立弘前工業高等学校	個人	2年 樋口 大地	つなげよう、優しさのラリー
	青森県立八戸高等学校	個人	2年 佐々木悠里	大切な人

(3) 「いじめ根絶キャンペーン」テレビCM制作・放送業務委託企画審査会

企画審査会参加業者が各々優秀賞9本から選んだ1本を原案としたいじめ根絶CMの企画を提案し、審査によりCM原案1点を選定した。

○開催日：9/8(月)

○企画名：君の一言で（青森市立北中学校 1年 土岐 楓香）

○制作：株式会社アール・エー・ビーサービス

○放送：青森放送株式会社

(4) 「いじめ根絶キャンペーン」テレビCM放送

ア 放送

○県放送分：46回 11/1(土)～30(日)までの1ヶ月間放送

○独自提案分：20回 県放送分と同じ期間に放送

イ CM放送に併せた独自の取組

○放送業者HPへのバナー広告(11/1～30)

○情報番組内でのCM等の紹介(1回)

○天気予報コーナーでのキャンペーンの紹介(6回)

〔成果と課題〕

いじめ根絶CM原作コンクールでは、前年度より197件多く応募作品が寄せられた。中高生だけでなく一般県民もCM原作を考えることでいじめ根絶に向けた認識を深めることができた。また、CM企画コンペでは、参加業者の協力を得て、取組を周知・広報することにより、幅広い展開及び県民意識の高揚につなげることができた。

今後は、青森県いじめ防止基本方針を踏まえ、いじめ根絶CM原作コンクールを、より多くの保護者や地域住民がいかなるいじめも許さないという人権尊重の精神を育む機会とすべく、実施にあたり各PTA連合会や関係機関等との連携を促進していく必要がある。

子ども健康促進事業

(地域で進めるすくすく青森っ子の育成)

〔事業目的及び概要〕

肥満傾向児の出現率を低下させることを目的に、家庭と地域と連携し、学校教育活動以外の場面での運動量の増加と家庭における食育の推進を図る取組を行う事業である。

【事業内容及び結果】

(1) 遊びのマスター派遣

普段の遊びや学校教育活動以外の場面において、子どもの運動量を増やすことを目的に、体を動かすことが楽しくなるような活動を指導する講師を、放課後子ども教室や放課後児童クラブ等の子どもたちが週末や放課後に過ごす場に派遣した。

No.	市町村名	期 日	会 場	参加者数	種 別
1	青森市	8/ 8(金)	金沢放課後児童会	50名	児童クラブ
2	平内町	11/28(金)	東小学校	19名	子ども教室
3	今別町	12/ 4(木)	今別小学校体育館	15名	子ども教室
4	つがる市	10/29(水)	稲垣西小学校体育館	25名	子ども教室
5	鱒ヶ沢町	7/30(水)	舞戸公民館	45名	児童クラブ
6	深浦町	1/10(土)	修道小学校体育館	27名	子ども教室
7	中泊町	11/ 8(土)	武田小学校体育館	15名	子ども教室
8	黒石市	11/17(月)	北地区小体育館	32名	児童クラブ
9	西目屋村	8/22(金)	西目屋中学校体育館	18名	ふれあいスポーツ教室
10	大鰐町	10/ 4(土)	大鰐町総合福祉センター	25名	児童クラブ
11	三沢市	10/11(土)	おおぞら児童センター	60名	児童クラブ
12	野辺地町	9/ 6(土)	野辺地町中央公民館	24名	通学合宿
13	七戸町	10/28(火)	城南小学校体育館	20名	子ども教室
14	横浜町	10/ 1(水)	有畑小学校体育館	28名	子ども教室
15	おいらせ町	2/12(木)	甲洋小学校体育館	56名	子ども教室
16	東通村	9/16(火)	東通小学校体育館	25名	児童クラブ
17	三戸町	10/ 8(水)	三戸小学校第1体育館	111名	子ども教室、児童クラブ
18	五戸町	12/13(土)	五戸小学校体育館	34名	子ども教室
19	階上町	12/25(木)	道仏小学校体育館	19名	子ども教室
20	新郷村	12/30(火)	都市農村交流センター美郷館	12名	児童クラブ

(2) 食卓から子どものヘルスアップセミナー

子どもの食習慣について、祖父母世代（親世代も含む）を対象に、子どもたちの健康と食に関する課題の理解や家庭での食生活の見直しにつながるセミナーを県内6地区で開催した。

(3) 親子健康キャンプ

望ましい運動習慣と食習慣、生活習慣の形成のため、梵珠少年自然の家、種差少年自然の家及びむつ市下北自然の家を会場に、親子で宿泊し、望ましい食体験や運動体験、健康に関わる講話を聞く等の活動を行った。

【成果と課題】

家庭や地域と連携した取組を通して、学校教育以外の場面での運動量の増加と家庭における食育の推進を図ることができた。

今後は、他部局と更に連携し、継続した取組が進められるよう市町村への情報提供及び関係機関への支援を行う必要がある。

障害者青年学級開設

【事業目的及び概要】

自立と社会参加を支援し社会性の向上をめざすことを目的として、集団学習や趣味の講座、障害者スポーツを通して他の卒業生や在校生、学校のある地域の人たちなどと交流する機会を提供する事業である。

【事業内容及び結果】

○社会参加学習

開設校	回数	時間	参加者数	主 な 内 容
青森第二養護学校	5	14	111	運動会参加、二養祭参加、ボウリング教室、会報の発行

開設校	回数	時間	参加者数	主 な 内 容
青森若葉養護学校	2	9	18	運動会参加、親睦旅行
青森第一高等養護学校	2	6	70	ヨガ、めいせい祭参加
青森第二高等養護学校	3	15	207	二高養祭参加、地域ブロック活動、同窓生の集い
県立盲学校	3	10	28	運動会参加、球技大会「フロアバレーボール」(大学生との交流)、県盲祭参加
浪岡養護学校	11	19	183	運動会参加、PTA研修、しらかば学級クラス会、趣味の教室「絵手紙」、浪養祭参加、お菓子作り教室
弘前第一養護学校	3	14	121	運動会参加、総会・親睦会、親睦旅行、学習発表会鑑賞
弘前第二養護学校	5	18	25	運動会参加、ねぶた祭り参加、同窓会参加、ふれあいコンサート、学習発表会参加
八戸第一養護学校	3	13	109	レクリエーション、成人を祝う会・夏を楽しむ会、高等部祭見学会
八戸第二養護学校	2	10	330	卒業生の集い、卒業生と在校生、高校生ボランティアとの交流会
八戸盲学校	5	14	51	組織作り、芸術教室、学習発表会参観・参加
森田養護学校	3	12	85	サッカー体験、森養祭参加(作品展示)バス遠足(公共施設でのマナーを学ぶ)
黒石養護学校	3	15	124	映画鑑賞、軽スポーツ「エアロビクス」、親睦旅行(公共の場でのマナーを学ぶ)
七戸養護学校	3	14	160	同窓会総会、成人を祝う会、バス旅行(公共の場での活動やマナーを学ぶ)
むつ養護学校	3	11	176	運動会参加、スポーツレクリエーション、ふれあいボウリング大会、創立20周年記念式典
合計	のべ回数 56 回	のべ時間 194 時間	参加者数合計 1,798 名	

○スポーツ体験交流

参加対象：青年学級生と児童生徒や地域住民 等

実施日	開催場所	参加者数	内容
6/8(日)	青森第二高等養護学校	65名	ボッチャ
7/9(水)	弘前第一養護学校	15名	ボッチャ
8/3(日)	青森第二高等養護学校	62名	ファインボール フライングディスク
9/7(日)	青森第二養護学校	55名	フライングディスク ディスクゲッター バルバレー トランポリン
10/5(日)	八戸盲学校	20名	フロアバレー
11/5(水)	浪岡養護学校	46名	ボッチャ
11/29(土)	青森若葉養護学校	15名	ボッチャ バルバレー
12/23(火)	青森中央短期大学	15名	サッカー

1/12 (月)	青森中央短期大学	14名	サッカー
1/18 (日)	青森第二高等養護学校	23名	サッカー
合計	開催回数 10回	参加者数合計 330名	

[成果と課題]

外に出る機会の少ない障害のある青年にとって、学校を通じて、同窓生や地域の方々と交流する機会となった。

学校の行事と同時に開催することは、学級生が学校の行事参加を楽しみにしていることや、在校生や地域ボランティア、地域の方々と交流が生まれることから有意義であるという意見が聞かれた。また、毎年、定期的に行うことで、同窓生同士が声を掛け合い、誘い合って参加している姿も見られ、家庭教育学級と同時に開催するなど、各校においてより多くの方々と交流できる機会の創出に努めている。

また、今年度からの新しい取組として「スポーツ体験交流」を行ったが、「スポーツ指導者の派遣はとてよかった。来年度も活用したい。」などの感想が聞かれた。今後はさらに多くの学校で活用してもらえるよう働きかける必要がある。

地域の教育力によるたくましい高校生育成事業

[事業目的及び概要]

将来、社会人として自立した力を身に付けたたくましい人財の育成を目的として、高校生が主体的に地域と関わることで地域資源に関する理解や地域への愛情を深めるとともに、社会参画意識を高める取組を行う事業である。(学校教育課との連携により実施)

[事業内容及び結果] (生涯学習課所管部分のみ)

(1) 中間報告会 (共通研修)

事業に参加する県立学校及び特別支援学校の担当教員が一堂に会し、これまでの取組状況の情報交換と今後の活動についての研修会を行った。

○開催日：6/11(水)

○場 所：県総合社会教育センター

○参加者数：36名

○内 容：推進校担当者による取組状況の報告及び情報交換他

(2) 成果発信

ア 事業報告会

事業に参加した県立学校及び特別支援学校の生徒及び教職員等が一堂に会し、2年間の取組についての報告と研究成果に基づいた提言及び今後の継続的取組に向けた研修を行った。

○事業推進校：木造高校深浦校舎、弘前中央高校(定時制)、黒石商業高校、柏木農業高校、弘前工業高校、弘前実業高校、三沢商業高校、青森第一高等養護学校、青森第二高等養護学校、黒石養護学校、盲学校

○開催日：2/5(木)

○場 所：県総合学校教育センター

○参加者数：246名

○内 容：報告会(推進校生徒による報告)

トーク&ライブ「先輩はミュージシャン 坂本サトル Talk&live vol.2」

講師 ミュージシャン 坂本 サトル

イ 事業報告書の発行

これまでの取組成果について報告書を作成した。

[成果と課題]

共通研修及び成果発信を通して、主体的に高校生が地域と関わり、ふるさとに誇りを持つとともに社会参画意識を高めることができた。

今後の課題としては、普通高校における取組の推進と他の県立学校及び市町村への成果発信を進める必要がある。

地域の教育力による学校支援活動推進事業

〔事業目的及び概要〕

未来を担う子どもたちを健やかに育むことを目的に、学校・家庭・地域の連携を強化し、教員や地域の大人が子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図ることを目的として、地域の教育力による学校支援活動の充実と一層の活性化を図る事業である。

〔事業内容及び結果〕

(1) 地域の教育力による学校支援活動推進委員会

行政関係者、学校関係者、社会教育関係者、学識経験者等で構成し、学校支援ボランティア活動の諸課題や、より一層の活動の推進について検討した。年2回開催。

(2) 市町村補助事業

地域の教育力の向上を目的として、学校支援センターを開設し、地域ぐるみで学校を支援する体制づくりを進めた。

○取組市町村：15市町村 66校（小49校、中17校） 61学校支援センター

○内容：小・中学校の余裕教室等を活用した学校支援者の活動拠点を確保、学校支援コーディネーターの配置、学校支援ボランティア活動の実施

番号	取組市町村	小学校	中学校	学校支援センター数	番号	取組市町村	小学校	中学校	学校支援センター数
1	外ヶ浜町	3	0	3	9	平川市	6	1	7
2	今別町	1	1	1	10	三沢市	3	0	3
3	五所川原市	7	2	9	11	野辺地町	3	1	1
4	深浦町	3	2	5	12	横浜町	1	0	1
5	板柳町	4	1	5	13	佐井村	1	1	1
6	中泊町	2	0	2	14	八戸市	10	6	16
7	弘前市	0	2	2	15	五戸町	2	0	2
8	黒石市	3	0	3	合計	15	49	17	61

〔成果と課題〕

地域住民によるボランティア活動によって学校と地域との連携が更に深まり、教職員の多忙感の解消の一助となるとともに、子どもたちの学習意欲の向上等にもつながった。子どもたちは、地域に支えられた活動によって、地域への愛着や理解が深まり、将来について考えるきっかけとなった。

今後は、市町村の自立した取組が進められるよう、市町村担当者及び活動者（支援者）の研修や情報交換の機会の提供を行っていく。

放課後子どもプラン（放課後子ども教室推進事業）

〔事業目的及び概要〕

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を設け、スポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民と交流活動等の取組を実施する事業である。

〔事業内容及び結果〕

(1) 放課後子どもプラン推進委員会

行政関係者、学校関係者、社会教育関係者、福祉関係者、学識経験者等で構成し、全児童の放課後対策の諸課題について協議するとともに、放課後対策事業の実施方針、安全管理方策、広報活動方策の策定や、指導者研修の企画、事業実施後の検証・評価等を行った。

○委員：12名

○回数：2回

(2) 指導者研修

放課後子ども教室関係者と児童クラブ関係者等を対象とした指導員研修を実施した。

ア 放課後子どもプランコーディネーター等研修

○主 管：県総合社会教育センター

○参加人数：計191名

○内容等

【開催日】 6/5(木)～6(金)	【参加人数】 191名	【会場】 県総合社会教育センター
【内容】 5日	講義「特別な支援を要する子どもの理解と対応」 弘前大学教育学部 准教授 増田 貴人	
	情報交換「放課後子ども教室等における現状と課題」 県総合社会教育センター職員	
6日	講義「子どもたちの安全・安心のためにできること」	
	演習「子どもたちの危険から身を守るために」 子どもの危険回避研究所 所長 横矢 真理	

イ 放課後子どもプラン指導員等研修

○主 管：各教育事務所

○参加人数：計 1,032名

東青	前期	【開催日】 6/25(水) 【会場】 県総合社会教育センター 【参加人数】 66名 【内容】 講演 「感染症予防について」 東地方保健所 所長 宮川 隆美 実習 「吐物処理について」 東地方保健所 総括主幹 金澤 孝彦 講演 「手洗い等について」 東地方保健所 主幹 横山 孝仁
	後期	【開催日】 9/18(木) 【会場】 県総合社会教育センター 【参加人数】 69名 【内容】 実習「ワクワクドキドキ科学実験工房～みんなで楽しく科学で遊ぼう～」 県立三沢航空科学館科学実験工房インストラクター 盛田 洋介/浅沼 直樹
西北	前期	【開催日】 6/13(金) 【会場】 つがる市生涯学習交流センター「松の館」 【参加人数】 103名 【内容】 講義・演習「特別な支援が必要な子どもの理解と対応」 弘前医療福祉大学保健学部 教授 小玉 有子
	後期	【開催日】 10/6(月) 【会場】 つがる市生涯学習交流センター「松の館」 【参加人数】 80名 【内容】 講義・演習「楽しく身体を動かして遊べるプログラムの作り方 ～目的・場所・人数に応じて～」 NPO法人スポネット弘前 理事長 鹿内 葵
中南	前期	【開催日】 7/10(木) 【会場】 弘前市立中央公民館岩木館 【参加人数】 95名 【内容】 講義・演習「気になる子どもたちへの接し方」 青森県立保健大学健康科学部看護学科 教授 中村 由美子
	後期	【開催日】 9/11(木) 【会場】 弘前市立中央公民館岩木館 【参加人数】 76名 【内容】 講義・実技「子どもたちと楽しむレクリエーションの実際」 NPO法人スポネット弘前 理事長 鹿内 葵
上北	前期	【開催日】 6/18(水) 【会場】 七戸中央公民館 【参加人数】 120名 【内容】 講義・実技「子どもの安全を守るために～災害発生時 あなたはどうか対応する～」 NPO法人青森県防災士会 青森副支部長 相馬 多一郎
	後期	【開催日】 9/2(火) 【会場】 七戸中央公民館 【参加人数】 108名 【内容】 講義・グループディスカッション 「特別な支援の必要な子どもへの関わり方 ～あなたはどうか対応する?～」 NPO法人 You Me 理事長代行 前田 淳裕
下北	前期	【開催日】 6/13(金) 【会場】 むつ中央公民館 【参加人数】 73名 【内容】 講義「子どもの肥満に影響する要因と予防のための健康教育」 青森県立保健大学健康科学部看護学科 教授 中村 由美子
	後期	【開催日】 10/17(金) 【会場】 むつ来さまい館 【参加人数】 51名 【内容】 講義・実技「作って・飾って・体を使って遊ぼう ～子どもの居場所で遊ぶ意味を考える～」 NPO法人 ひろさきレクリエーション協会 理事長 小関 潤子

三八	前期	【開催日】 5/19(月) 【会場】 八戸市福祉公民館 【参加人数】 95名 【内容】 講義・ワークショップ「子どもの社会性を伸ばす支援のあり方」 弘前医療福祉大学 保健学部 教授 小玉 有子
	後期	【開催日】 9/30(火) 【会場】 八戸市福祉公民館 【参加人数】 88名 【内容】 講演・実技 「すぐに活用できるレクリエーション～楽しく学んで、しっかり実践～」 青森県レクリエーション協会 副会長 高橋 昌樹

(3) 放課後子ども教室推進事業費補助

放課後子ども教室推進事業を実施する市町村（中核市の青森市を除く）に補助金を交付した。

○実施市町村：24 市町村（86 子ども教室）

平内町 外ヶ浜町 今別町 つがる市 深浦町 中泊町 鶴田町 平川市 藤崎町
大鰐町 十和田市 七戸町 おいらせ町 六戸町 横浜町 東北町 むつ市
大間町 風間浦村 佐井村 八戸市 三戸町 五戸町 階上町

【成果と課題】

放課後子ども教室は、青森市を含めると 25 市町村で 94 教室が開設され、地域の特性を生かしてスポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民との交流活動等が実施されている。放課後子どもプランにかかわる研修会には年間 1,000 名を越える参加があり、指導員等の資質の向上に資する研修となっている。

今後は、国が新たに策定した放課後子ども総合プランを推進するとともに、実施主体の市町村が放課後子ども教室を円滑に実施できるように、速やかな情報提供等に努めていく必要がある。

家庭教育支援推進事業

【事業目的及び概要】

家庭教育はすべての教育の原点であり、家庭を取り巻く環境が変化している中、社会全体で家庭教育を支援することを目的として、「あおり家庭教育アドバイザー」を養成し派遣するなど、今日的課題に対応した学習や取組を行う事業である。

【事業内容及び結果】

(1) 家庭教育支援推進協議会の設置

家庭教育に関する今日的課題に対応し、家庭教育支援の活性化を図る取組について協議会を開催した。

○委員：10 名

○開催回数：年 3 回

(2) あおり家庭教育アドバイザーの養成・派遣

「あおり親楽プログラム」を活用した学習を進行する家庭教育アドバイザーを養成・派遣した。

○あおり家庭教育アドバイザー養成講座

開催地	日時	会場	参加者数	内容
弘前	6/3(火) 6/6(金)	弘前市民交流館 (ヒロロスクエア)	20 名	講義「家庭教育の現状と家庭教育アドバイザーの役割」 演習「あおり親楽プログラムを体験してみよう」 「あおり親楽プログラムを作成してみよう」 など
八戸	7/16(水) 7/23(水)	八戸市福祉公民館	28 名	講師 【弘前会場】弘前大学生涯学習教育研究センター 講師 深作 拓郎 【八戸会場】青森県立保健大学健康科学部 教授 中村 由美子
合計参加者数 48 名				

○あおり家庭教育アドバイザー登録者数：22 名

○あおり家庭教育アドバイザー派遣：18 回

(3) 学習テキストの作成

家庭教育に関する今日的課題に対応した学習プログラム「あおり親楽プログラム」を作成した。

○「あおり親楽プログラム 3 支援者編」の作成 1,500 部

(4) 情報交換会の開催

県総合社会教育センターと共催：子どもたちの未来をはぐくむためのセミナー

家庭教育支援活動に関わる人たちが、さらなる資質向上とネットワークの構築・強化を図りながら、家庭教育の今日的な課題等について情報共有を図った。

(内容はP72に掲載)

[成果と課題]

今年度は、あおり家庭教育アドバイザーの養成講座を2回開催し、あおり家庭教育アドバイザー登録者数がさらに増加した。また今年度は幼稚園や小学校・中学校などの他、市町村教育委員会、公民館、大学など様々な実施主体から多様な機会へのアドバイザー派遣依頼があり、アドバイザーが多く活躍する機会があった。

今後は、家庭教育アドバイザーの養成講座などで作成した学習テキストを活用し、家庭教育支援者の育成、アドバイザーの養成・派遣を充実させることができた。

障害者家庭教育学級開設

[事業目的及び概要]

障害のある児童生徒の父母等保護者の家庭教育支援を目的として、特別支援学校に家庭教育を開設する事業である。

[事業内容及び結果]

開設校	回数	時間	参加者数	主 な 内 容
青森第一養護学校	5	12	94	パン作り教室、講話・演習「AEDを使った救命処置」、施設見学会、アロマセラピー教室、東青地区研修会参加
青森第二養護学校	4	12	63	校長講話、ハンドマッサージ、ヘアカット法、そば打ち体験、教頭講話、アーティフィシャルフラワー
青森若葉養護学校	5	10	26	お琴体験、小物作り、生け花授業見学・体験、お菓子作り、スローエアロビック体験、コサージュ作り
青森第一高等養護学校	5	12	150	エコクラフト教室、運動会参加、福祉に関する勉強会、トールペイント教室、文化祭参加
青森第二高等養護学校	4	11	84	ひまわりの種植え・茶話会、専門教科(窯業)作業体験、二高養祭参加(バザーの活動準備・実施)、台湾料理調理体験
県立盲学校	4	12	106	運動会参加・片付け補助、通学路清掃活動・花壇整備、点字ブロック理解啓発活動、県盲祭参加
青森聾学校	6	12	173	運動会グラウンド整備、昼食交流、家族レクリエーション、青聾祭模擬店への協力、東青地区研修会担当、給食試食会
浪岡養護学校	11	23	158	弘前地区合同研修会参加、PTA研修会、パン作り(小学部)、親子スポーツ交流(中学部)、そば打ち体験(高等部)
弘前第一養護学校	4	15	299	運動会参加、PTA研修会、障害者就労施設見学、PTAバザー企画・運営・参加
弘前第二養護学校	5	19	160	運動会参加、弘前地区合同研修会担当、県特P連津軽地区合同研修会参加、施設見学、学習発表会鑑賞
弘前聾学校	6	13	58	バトミントン、そば打ち体験、里山トレッキング、手話講座、弘聾模擬店体験、こぎん刺し体験、給食試食会
八戸第一養護学校	4	17	67	学校給食試食会、施設見学・体験、二北三八地区合同研修会担当、県特P連二北三八地区合同研修会参加
八戸第二養護学校	3	11	167	施設見学会、県特P連二北三八地区合同研修会主管、進路学習会(講演)
八戸盲学校	6	17	58	運動会装飾作り、パソコン教室、料理教室、合同奉仕作業、マッサージ・アロマ体験